2026年11月
第78号

備前市議会だより



おもな内容

Ｐ２～　９月定例会の概要
Ｐ４　　議案審議状況
Ｐ５～　一般質問（質問者は15人）
Ｐ13～　各委員会審査
Ｐ16　　議会報告会のお知らせほか

今月の表紙は、1971年に一度、国内の野生では絶滅した国の特別天然記念物「コウノトリ」です。
兵庫県豊岡市の「人工繁殖」や「農薬に頼らない米作り」等の取り組みにより、野生生息数が回復し、近年、備前市内（香登・大内地区にて）へも飛来してきています。

９月定例会の概要

第３回定例会は９月１日から29日までの29日間で開催されました。

本定例会で審議された案件は、33件（追加議案１件、諮問１件、報告３件を含む）、請願２件、議員発議１件、監査報告３件でした。

９月１日には議案を上程し、備前市名誉市民である故伊勢﨑淳氏の市民葬実施事業に係る一般会計補正予算（第２号）を採決しました。

一般質問は、９月９日から11日までの３日間で15人が登壇しました。

９月14日には議案質疑と議案委員会付託、請願上程と請願委員会付託を行いました。

また、議員発議案（非核三原則の堅持を求める意見書について）が上程されました。

発議案については、非核三原則の法制化を求めるべく意見書を修正すべきとの修正案が提出されましたが、修正案は否決され、賛成多数で原案が可決されました。

発議案の内容と討論は次のとおりです。

●発議第３号 非核三原則の堅持を求める意見書の提出について【原案可決】

非核三原則を堅持することを政府に求めるものであって、法制化については安全保障や外交政策、国政に関わる重要な課題であり今後国において十分な議論が必要であることから、本発議は非核三原則を堅持するという基本的な考え方を明確な意思表明として提案するもの。

【修正案に賛成】

・非核三原則は国会の決議だが、法律や条約ではないため、非核三原則の一つである「核兵器を持ち込ませず」には法的な拘束力がない。その法的な拘束力を求めるためには、やはり法制化が求められるのが現実ではないか。

最終日には、各常任委員会の委員長報告を経て、討論・採決の後に閉会しました。

※討論となった主な議案は、次のとおりです。

●議案第78号 令和８年度備前市一般会計補正予算（第３号）【原案可決（委員会附帯決議あり）】

予算決算審査委員会において少数意見が留保され、審査経過および結果に関する委員長報告の後、討論が行われました。採決の結果、本案は原案のとおり可決されました。

※委員会附帯決議については、予算決算審査委員会のページ（P13）をご参照ください。

【原案に反対】

・新設図書館に伴う公園整備等が進む一方、現状でも不足しているビーテラス周辺の駐車場問題への具体策がない。市民の声や庁内議論を尽くさず進める「計画性のない事業推進」は認められず反対。

●議案第87号 備前市定住促進用地の無償貸付け及び無償譲渡に関する条例の制定について【原案可決】

定住促進を目的として、市が保有する分譲地を一定の条件のもとで無償貸付・無償譲渡する条例案が審議されました。反対意見では、対象となる土地にはこれまで市費が投入されており、その土地を無償で提供することについて市民への十分な説明がないとの指摘がありました。また、この土地の活用方針が過去に何度か変更されてきた経緯から、事業の計画性についても疑問が示されました。一方で、定住促進や土地の有効活用を進める施策として条例案が提案され、本会議で採決した結果、賛成多数で可決されました。

【原案に反対】

・対象土地には、１区画あたり約600万円の市費が投入されており、それを無償貸付・無償譲渡することは市民に説明しにくい。

・これまで「住宅建設」「コンビニ建設」「再び住宅建設」と土地利用の計画が変わっており、事業の計画性に問題がある。
・市有地を安易に無償提供するのではなく、これまでの経緯や費用を踏まえ、慎重に対応すべきである。

●議案第97号　令和７年度備前市宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定について【認定】

令和７年度の宅地造成・分譲事業に関する歳入・歳出決算を認定する議案です。審議では、鶴海地区の宅地造成事業における農地転用などの手続きについて指摘があり、行政としての適正な事務執行やコンプライアンスのあり方が論点となりました。採決の結果、賛成多数で認定されました。

【原案に反対】
・宅地造成・分譲事業に関して、農地転用の手続きを適切に行わないまま造成や売買に関する動きが進められた点は問題である。
・行政こそ法令や許認可手続きを厳格に守るべきであり、コンプライアンスの観点から認定に反対。

●議案第100号　令和７年度備前市水道事業会計決算の認定について【認定】

審議では、岡山県広域水道企業団への負担金や、備前市が実際には利用していない水源に関する費用負担のあり方、あわせて老朽化した水道管の更新状況などが論点となりました。採決の結果、賛成多数で認定されました。

【原案に反対】
・利用していない水源への負担を続ける一方で、市内の老朽管更新が十分でない現状は見直すべき。

●議案第104号　備前市新図書館建設工事の請負契約の変更について【原案可決】

新図書館建設工事に関する請負契約の変更について審議されました。建設地の災害リスク、用地の利用経緯、工事費や工期、施設計画の妥当性などが論点となりました。採決の結果、賛成多数で可決されました。

【原案に反対】
・安全性・費用・工期・施設計画の妥当性に疑問がある。

（広聴広報副委員長　杉原五郎）

各議員の賛否一覧

案件（上段：会派名／下段：議員名）		良知会			公明党備前市議団		日本共産党備前市議団		備前をかんがえる会				健志会				賛成	反対
		尾川	西上	山本	森本	奥道	中西	松本	立川	藪内	石原	尾尻	青山	中村	杉原	藤原		
一般会計補正予算（第３号）		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	−	○	○	○	○	12	2
定住促進用地の無償貸付け及び無償譲渡に関する条例制定		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	−	○	○	○	○	12	2
宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	−	○	○	○	○	11	3
水道事業会計決算の認定		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	−	○	○	○	○	12	2
新図書館建設工事の請負契約の変更		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	−	○	○	○	○	12	2
非核三原則の堅持を求める意見書	修正案	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	3	12
	原案	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	12	3

【表の見方】
１．「○」は賛成、「×」は反対、「−」は表決に加わっていないことを表します。　２．■は討論を行った議員を示します。

TEL 64−1803　FAX 64−1074

議案審議状況

９月定例会では、市長提出議案30件、報告3件、請願２件、議員発議１件が審議されました。審議結果は、次表のとおりです。

令和８年度　各会計補正予算案	審議結果	議決形態
一般会計補正予算(第２号)	原案可決	全会一致
一般会計補正予算(第３号)	原案可決	賛成多数
土地取得事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決	全会一致
介護保険事業特別会計補正予算(第２号)	原案可決	全会一致
飲料水供給事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決	全会一致
水道事業会計補正予算(第２号)	原案可決	全会一致
病院事業会計補正予算(第２号)	原案可決	全会一致
条例改正・制定案	審議結果	議決形態
公益的法人等への備前市職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案可決	全会一致
隣保館設置条例の一部改正	原案可決	全会一致
国民健康保険条例の一部改正	原案可決	全会一致
定住促進用地の無償貸付け及び無償譲渡に関する条例制定	原案可決	賛成多数
令和７年度　各会計決算認定	審議結果	議決形態
一般会計歳入歳出決算の認定	継続審査	—
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
三石財産区管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
三国地区財産区管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
飲料水供給事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	賛成多数
駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	認　定	全会一致
水道事業会計決算の認定	認　定	賛成多数
下水道事業会計決算の認定	認　定	全会一致
病院事業会計決算の認定	認　定	全会一致
人事案件	審議結果	議決形態
人権擁護委員の候補者の推薦	適任である	全会一致
その他	審議結果	議決形態
岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更	原案可決	全会一致
新図書館建設工事の請負契約の変更	原案可決	賛成多数
報告	審議結果	議決形態
継続費精算報告書の報告	報　告	—
令和７年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報　告	—
専決処分(損害賠償の額の決定及び和解)の報告	報　告	—
議員発議	審議結果	議決形態
非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決	賛成多数
請願	審議結果	議決形態
教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げを図るための2027年度政府予算に係る意見書提出に関する請願	継続審査	—
非核三原則の堅持・法制化を求める意見書の提出に関する請願	趣旨採択	全会一致

一般質問の要旨

今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。
通告事項や質問・答弁の概要は、以下のとおりです。

質問議員	質問事項
1 青山孝樹	1 まちづくりの方向性について 2 これからの「公共施設の在り方」を話し合うタウンミーティングについて 3 防災・減災対策とインフラ整備について 4 本市のスポーツ行政について 5 伊里公民館の建て替えと熊沢蕃山記念館について
2 杉原五郎	1 公共施設再編と地域コミュニティ・暮らしの基盤維持について 2 移住定住政策における「住まいの受け皿づくり」について 3 大型施設整備と財政運営スタンスについて 4 介護認定に関する市民の声への対応と関連専門職への意見聴取について
3 石原髙志	1 備前市吉永総合支所整備事業基本構想による基本設計について 2 備前市公営住宅等長寿命化計画について 3 子育て世代の定住化対策として住宅地の分譲が有効と考えるが
4 西上徳一	1 片上交番・伊里交番・鶴海駐在所の統廃合計画について 2 10年後、20年後を見据えた備前市の農業について 3 包括連携協定と経済効果を見据えた戦略的企業誘致について
5 森本洋子	1 東備西播定住自立圏について 2 学校現場における火災に対する避難訓練について 3 備前市美術館について 4 「切れ目のない地域支援体制」の構築について
6 松本　仁	1 高齢者・障害者への「ごみ出し支援」の充実に向けて 2 日生総合支所の有効活用について 3 備前丸及びコンソーシアムの企画提案書について
7 立川　茂	1 諸課題について 2 介護の現状について 3 教育課題について
8 尾尻雄平	1 備前市美術館について 2 デマンドタクシーについて 3 ビーテラスについて 4 伊里公民館について
9 中西裕康	1 ますます厳しくなる市民生活への対応は 2 独裁政治を今後許さないために、第３者委員会を設置して検証を行うべきではないか 3 公共施設の適正な管理について 4 一人暮らし高齢者への温かい援助についてよい案ができたか 5 全庁的窓口業務時間の短縮について 6 人工芝の安全性、マイクロプラスチック、PFAS、発がん性等の健康被害について 7 吉村市政時代に購入した土地一覧並びにその後の対応は 8 鶴海地区内の土地開発について 9 他自治体の災害の対応について
10 中村国広	1 全国学力・学習状況調査の結果を受けて 2 放課後児童クラブについて 3 備前市内小・中学校における自立応援支援室について 4 伊部公民館について 5 伊部にあった「くるみの森跡地」について
11 尾川直行	1 新図書館の開館へ向けての具体的施策推進を 2 都市データパック「住みよさランキング」を活用し備前市の魅力づくりを 3 学力向上、芸術文化振興への取組について 4 熊本地震、千葉県豪雨災害から学ぶことは 5 自治会・町内会、まちづくり会議の活動について
12 藪内　靖	1 スマートシュリンク、賢く収縮していくまちづくり 2 美術館・ビーテラスについて 3 移住・定住について 4 独居老人の支援について 5 備前丸について（取下げ） 6 テニスコート整備について 7 ＪＲ寒河駅前周辺整備について
13 奥道光人	1 備前陶器窯跡について 2 防災について 3 熱中症対策について 4 市内小中学校教員について
14 山本　成	1 人口減少対策について 2 伊部地区の発展について 3 片上地区ビーテラスを核としたまちづくり 4 備前市におけるふるさと納税制度の運用上の課題
15 藤原智恵	1 市内小中学校の再編について 2 ふるさと納税の寄附使途への地域単位選択枠の導入について 3 子育て世代に選ばれるまちづくりについて

TEL 64−1803　FAX 64−1074



「賢く収縮する」ダウンサイジングのまちづくりとは

健志会
青山　孝樹

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問　**現在の人口29,518人が2050年には16,553人、約半数になると見込まれています。人口減、少子高齢化による税収減、担い手不足、生徒数減などを踏まえたこれからのまちづくりのお考えは。**

市長　今後のまちづくりの方向性として、施設の機能化は残しつつ、複合化やダウンサイジングを行う手法は、課題解決に有効なものと考える。地域コミュニティや市民にとって必要な機能を維持しつつ、公共施設の集約や統廃合の推進が重要と考える。

問　**地域でできることは地域でやっていこうという、住民参加のまちづくりについてのお考えは。**

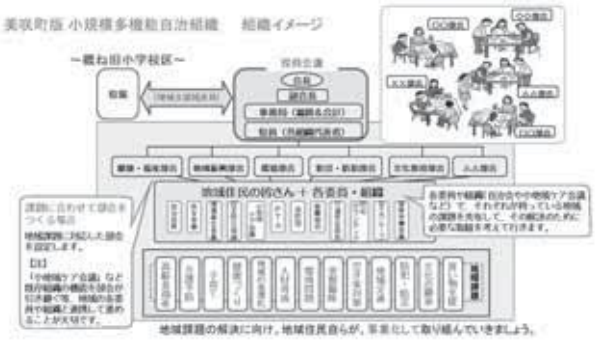
市長　まちづくり会議は、住民自らが問題解決に向けて活動する組織として位置付けており、人口減少が進む中、まちづくり会議等の再編は必要である。市民への情報発信と対話を強化し、まちづくり会議が真の意識改革の場となるよう支援していく。

問　**災害時のインフラ整備についてのお考えは。**

市長　上下水道の耐震化は重要である。災害発生時の給水活動は本市単独での対応には限界があり、広域的な相互支援体制の重要性を深く認識しており、関係機関との連携を図るとともに、計画的なインフラの耐震化と応急給水体制の充実に取り組む。

問　**伊里公民館の建て替えと熊沢蕃山記念館併設の今後の進め方についてのお考えは。**

市長　伊里公民館については、来年度より基本計画の作成に着手したい。その中で地域の偉人である熊沢蕃山先生の顕彰の在り方も含め、地域の方や施設利用者の意見も聞きながら進めていく。



「住民参加のまちづくり」のイメージ
（美咲町資料からの抜粋）



先送りせず暮らしを守る市政を

健志会
杉原　五郎

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

日生市民会館と公共施設再編

問　**日生市民会館は平成31年からホール空調が故障したままである。利用率低下を理由に修繕を先送りせず、安全確保と文化活動を守るため早急に対応すべきではないか。また、施設再編では日生へのホール機能集約と公共交通の見直しを一体で進める考えはあるか。**

市長　長期間稼働していないことは重く受け止めている。公共施設の方針決定後、速やかに対応する。日生へのホール・音響機能集約は選択肢の一つで、施設再編に合わせ公共交通も見直す。

空き家対策と移住定住の受け皿づくり

問　**増え続ける空き家について、把握した利活用可能な住宅を空き家バンクや移住定住につなげる仕組みや、補助制度の充実は。**

市長　空き家バンクは534件登録、299件が成約。現況把握のデータ整理を早急に進め、Ｕターン者や若者の改修への手厚い支援制度の創設を検討する。

大型施設整備と将来の財政負担

問　**美術館、図書館、ビーテラスについて、人件費や市債償還まで含めた年間フルコストはいくらか。**

総合政策部長　年間概算は美術館３億６千万円、図書館３億円、ビーテラス１億１千万円（市債元利償還金の70パーセントは普通交付税で手当）。決算剰余金の動向からコストの増加分はプラス収支で吸収できると見込んでおり、基金の取り崩しが前提ではない。

介護認定と現場の声の反映

問　**介護認定の区分変更で支援が途切れる市民の声をどう把握し、ケアマネージャーや医師など専門職の意見を反映しているか。**

市長　国の基準に基づき調査しており、認定調査で必要な聞き取りは行うが、改めて現場の意見を聴取する機会は設けていない。今後再度ケアマネージャー等の意見を聴取する機会を検討する。



吉永総合支所整備事業基本構想について

備前をかんがえる会
石原　髙志

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問　**吉永総合支所整備事業について地域住民に十分な説明をしたのか。**

市長　令和８年１月に地域懇談会を、吉永地域の地区長に参画いただき実施した。

　アンケート調査は当日欠席の方や地域の方々の意見を聞くため一度持ち帰り１月末を目途に実施した。

問　**位置図・平面図を確認したが、こんなもので良いのか。**

市長　基本構想の委託内容は図面の作成、概算工事費やライフサイクルコストなどから比較検討表を作成するもので、地区住民等の様々な意見を集約した後、最終的な方針を決定する。

備前市公営住宅等長寿命化計画について

問　**目的と進捗状況は。**

市長　良質な公営住宅等のストックの長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図ると共に事業の平準化を図る。

問　**東鶴山・土師神根住宅の建築予定年度について。**

市長　具体的な年度は決定していない。

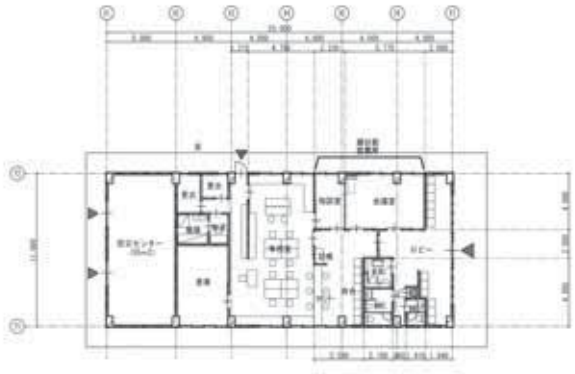
子育て世代の定住化対策

問　**今、備前市が分譲地を予定している物件、今後の計画物件は。**

市長　鶴海地区での分譲を計画している。

問　**吉永地域に市が所有する土地が３件あるが、その中から来年度に計画できないか。**

市長　鶴海地区の分譲の様子を見極めた上で検討したい。



吉永総合支所改築案



片上交番・伊里交番・鶴海駐在所の統廃合計画について

良知会
西上　徳一

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問　**県警が進める「施設再編指針」において３施設を統合した新交番を市役所周辺へ集約する方針が示されております。鶴海駐在所の存続を求める811筆もの住民署名と要望書を備前警察署長に提出した。**

　市民の防犯拠点として存続させるよう、県警へ主体的に働きかけていくべきと考えるが、市長の見解は。

市長　地域での安心・安全を守るため交番・駐在所が設置されていることは、住民にとって大きな安心をもたらすものであると認識している。今までにも市民の安全・安心をしっかりと守っていただくことを強く要望してきているので、今後も粘り強く働きかけていく。

警察の配置指針に基づく「山間部等」としての位置付けと地域の安全性について

問　**「施設再編指針」では、「都市部には交番、山間部には駐在所を原則配置する」と明記されています。まさに指針のいう「山間部等」に該当し駐在所が存続、配置されるべき地域ではないか。**

市長　「山間部」という位置付けにより、現在の駐在所が配置されているものと認識している。



鶴海駐在所

包括連携協定と経済効果を見据えた戦略的企業誘致について

問　**本市の課題解決に向け「包括連携協定」を視野に入れた企業誘致を進めるべきと考えるが本市の誘致戦略は。**

副市長　「前提」とすることにより誘致のハードル化などの課題もあると考えている。



暮らしを支える広域連携の充実を

公明党備前市議団
森本　洋子

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

東備西播定住自立圏について

問　**平成21年から備前市、赤穂市、上郡町と「東備西播定住自立圏」を形成。３市町が役割分担と連携・協力に取り組んでいる。３市町とも人口減少・高齢化が今後も進むと推計。広域連携がますます重要と考える。これまでの取り組みの評価は。**

市長　圏域バスの運行、図書館相互利用、文化・スポーツ施設の相互利用、ＪＲへの要望活動などを実施。特に、県境をまたぐバス路線が実現し、運行を継続できていることは特筆すべき成果と言える。

一方、圏域全体で人口減少・人口流出が続いていること、施設の相互利用が進まない、住民の交流を目的とした事業の低迷がみられることが課題である。

問　**「圏域バス運行事業」として「ていじゅうろう」が運行されている。成果と課題は。**

市長　令和７年度備前ルートは、9,800人利用。備前エリア内では、1,968人。令和５年度の1,780人から10%増。

問　**「圏域バス運転手維持確保事業」の取り組み、運転手の確保に繋がっているか。**

市長　「ていじゅうろう」を運行しているウイング神姫が、従業員募集の動画を作成する際の補助金を交付。動画はYouTubeで配信。応募者数６人のうち３人の採用に。一定の成果が得られた。



ていじゅうろう



日生総合支所、日生市民会館のスペース有効利用を

日本共産党備前市議団
松本　仁

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

日生総合支所の有効活用について

問　**日生総合支所未使用スペース活用の議論は、その後、どうなっているのか。**

市長　従来から計画していたｅスポーツとしての活用計画はない。引き続き地域の方々の意見を参考にしながら、施設の活用を考えていく。



日生総合支所

問　**日生市民会館と日生総合支所の利用も並行して考えてもいいのではないか。**

市長　全市的に公共施設の有効活用を検討していく。日生の施設利用も同様。



日生市民会館

新観光船、備前丸及びコンソーシアム（共同企業体）の企画提案書について

問　**３社(団体)の共同事業体の一つ「みしま海運」が現在行っている事業と備前丸の事業との航路や仕事内容の分担、棲み分けなどどう考えているのか。**

市長　単純な置き換えや競合としてでなく、地域資源と組み合わせた周遊・体験型観光の充実により新たな需要を掘り起こす取り組みと位置付けている。

問　**今回の２年間の検証実験と位置付けての更なる追加予算が予想されます。どうでしょうか。**

市長　現時点において、さらなる追加予算はない。今後につきましては、費用対効果を十分に見極めながら、過度な財政負担にならないよう適切に対応していく。

高齢者、障害者への「ゴミ出し支援」の拡充を

問　**市は「ゴミ出し困難世帯」の実態を把握しているのか。調査すべきでは。**

市長　総数を明確な数値としては把握していない。実情について全市的な実態調査は行ってはないが、社会福祉協議会と連携してサービス実施に向け、要支援、要介護認定者の生活支援ニーズのアンケートを実施し、対応している。



みんなで、なんとかしようよ みんなのふるさとを

備前をかんがえる会
立川　茂

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

諸課題について

問　**河川内管理・倒木・漂流物への対応は。**

市長　本年度の通報・改善要望は９月１日現在64件で、内容は、浚渫、支障木伐採、護岸施設等の補修。河川内の倒木・漂流物の対応はパトロールや市民からの情報提供に基づき対応に努めている。

問　**金芽米（栄養と旨み成分が多く含まれる「亜糊粉層」を残した精米技術による米）を妊婦にプレゼントするプロジェクトが泉大津市で効果を出しており、真庭市では小中学校の給食に採用しているが、備前市でも妊婦に「金芽米」をプレゼントしてはどうか。**



休耕田で有機米をみんなで植えよう

市長　実施するにあたってどのような手順が必要なのか、どの程度の費用が必要なのか、また、市内有機米を使用した金芽米の提供など、実施自治体を参考に、実施に向け、検討していく。

介護の現状について

問　**施設系、訪問系、援助系サービスなど施設との連携は。**

市長　担当のケアマネを中心に、一人一人のケースの事情に寄り添って、ショートステイ、デイサービス、訪問系のサービス事業者や医療機関、ボランティアや民間団体等が一つのチームとして支援している。

教育課題について

問　**児童生徒の減少、教職員の減配置のなか、校内の環境整備の現状は。**

教育長　児童生徒数の減少により、児童生徒や教職員のみによる環境美化の取組は、ますます厳しさを増していく状況にある。そのため、地域の皆様の一層のお力添えをいただく必要があると考えている。



市民の大事な税金 今、本当に必要なところへ

備前をかんがえる会
尾尻　雄平

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

備前市美術館の運営について

問　**美術館が開館して一年間で、指定管理料だけでなく、美術館の運営に関係する費用をすべて含めて、総額でいくらかかったのでしょうか。**

市長　概算で美術館が３億６千万円となっている。

デマンド交通事業について

問　**前回質問後、どのような検討や改善を行ったのか、現在の利用時間も含めお答え下さい。また、一台にかかった総額を市民の皆様に分かりやすくお答えください。**

総合政策部長　現在の利用時間は８時半～13時の運行。市民の皆様にはこの時間帯でのご利用をお願いしている。

　ＨＶ一台当たりの購入費は普通車448万円、軽自動車117万円で、補助金を除いた車両購入費、デザイン料、塗装・施工費を含む調達額は約6,700万円。

ビーテラスについて

問　**現在、ビーテラス課題及び可能性検討業務が行われています。今回の調査を実施することになった経緯と、調査によって新たにわかったこと、またその結果を今後どのように活用していくのか、市民に分かりやすくお答えください。**

総務部長　市民の皆様から「駐車場が少ない」「雨天時に屋外広場に水たまりができる」「地下から異臭がする」など様々なご意見をいただいており、課題解決を踏まえ施設の改善や今後の活用について検討・実施している。

伊里公民館について

問　**伊里公民館は建築から約50年が経過し、老朽化が進んでいます。また耐震化もされてない一方で、災害時には伊里地区市民の避難場所に設定されています。伊里公民館は備前市の公民館の中でも優先して建て替えを検討しなければならない施設だとこれまで言われてきました。しかし現在に至るまで具体的に「いつ」「どのように」整備するのか計画が示されていません。現時点で市が考えている具体的な青写真と今後のスケジュールをお答えください。**

市長　施設の在り方を検討する上で優先順位が高いと認識している。また地域から建て替えを要望する声もお聞きしている。今後の進め方について、伊里公民館は来年度より基本計画の作成に着手したいと考えている。



水道基本料金 ９月～12月減免します

日本共産党備前市議団
中西　裕康

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

物価高騰対策は

問　**ますます厳しくなる市民生活への対応は。**

市長　物価高騰は市民生活への影響が非常に大きい。水道基本料金を９月～12月減免します。総額6,646万2千円は、国からの交付金に対し約3倍の一般財源を投じるものです。今後も国政を注視しながら追加の物価高騰対策事業を行いたい。

第三者委員会の設置を

問　**独裁政治を今後許さないために、第三者委員会を設置して検証を行ってはどうか。**

市長　前市長の影響は残っていないと考え第三者委員会の設置についてはご意見として承らせていただきます。

タウンミーティングは沢山の市民が参加できるように

問　**タウンミーティングは行政の「アリバイ」でなく市民の意見聴取が広くできるように周知の徹底、持ち方の検討を図るべきではないか。**

市長　これまで熱心な討議を重ねてきました。今後は市民と行政が時間をかけて熟考を重ねてまいりたい。

問　**市民センター大ホールの壊れているエアコンはどうするのか。**

市長　公共施設の再編全体の問題だが、ホールを使えるようにしてほしいとの声もあり、検討してまいりたい。

問　**市民センターの大きな木からの落ち葉、虫害が問題となっている。**

市長　今年度は施設東側の樹木を来年２月頃に伐採予定としております。



伐採予定の市民センター東側樹木

全庁的窓口時間短縮について

問　**本庁１、２階の窓口時間の短縮について、残業手当はいくらか。**

市長　令和７年度は1,753万2,533円でした。

問　**早朝の早番制は。**

総務部長　８時から17時15分までで、30分を残業としている。

意見　早番は早くやってきて早く帰るのが普通。時間外を支給することは一般的には考えられない。

問　**この事業についての検証作業はどうするのか。**

市長　来庁者のみならず、広報紙を通じたアンケート、職員へのアンケートを予定しております。

健康に重大、人工芝

問　**人工芝でのマイクロプラスチック、特にＰＦＡＳについてはどのように考えているのか。**

市長　安全性、環境面で課題については承知しております。今後予防的観点をもって施設管理に努めてまいりたい。



教育・子育て支援 みんなで作るまち

健志会
中村　国広

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問　**全国学力・学習状況調査の結果を受けて、どのような分析を行い、対策を講じているか。**

教育長　基礎的な知識・技能を図る問題に課題がある一方、授業改善は進んでおり、学習内容が分かると感じている児童生徒が多い。系統性を意識した授業や朝の時間での補充学習、帰りの会での家庭学習計画等、各校で教育課程を見直す中で「分かる」から「できる」へつなげていくことが重要である。

問　**放課後児童クラブの位置づけはどうか。**

市長　取り組みの重要性が増してきている。

教育長　手狭なクラブもあり、増改築を検討している。国の巡回支援員事業を導入し、運営の効率化とサポート体制の強化を図っている。

問　**自立応援支援室の設置状況はどうか。**

教育長　小・中学校７校に設置し、学校に行きづらい児童・生徒の社会的自立を支援している。未設置校でも柔軟に居場所を確保している。県の事業終了後も市単独での支援を継続していく。

問　**伊部公民館の現状と今後の計画はどうなっているのか。**

市長　現在の施設は、地区公民館機能として不十分であり、交流やつどいの拠点となる施設が必要である。公共施設の在り方を検討しており、当面の間は現在の場所を利用していただくことをお願いしたい。

問　**くるみの森跡地はどのようになっていくのか。**

市長　子育て支援の継続性を優先して土地を取得した。しかし、建物は耐震性不足のため来年度は解体する方針である。土地の活用方法は、今後検討していく。



放課後児童クラブにおいてプログラミング講座



新図書館開館への道すじは

良知会
尾川　直行

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問　**新図書館建設の進捗、開館スケジュールは。市民文化の拠点・文化振興や賑わい創出のため市長部局へ所管替えを行うといった組織体制づくりは。**

市長　新図書館開館への進捗状況は８月末時点で66％、来年１月に完成。５月以降の開館に向け書架の配置や本の移設等を進める。図書館長就任以降、市民文化の拠点として地域内外の連携・交流を図り、活力と賑わいを創出する上で最適な組織体制の構築を検討している。

問　**図書館の有用性、登録率の向上、蔵書・選書の計画等開館に向けての準備は。**

市長　ワークショップの継続開催やサポーターミーティングを実施し、サービスや機能、活用方法の協議を重ねている。広報びぜんやホームページ等を活用し、開館前から図書館利用の啓発活動に取り組み、登録率向上、計画的な選書を実施していく。

問　**片鉄広場の整備、片鉄ロマン街道の拠点としてレンタサイクル等の整備運営は。**

市長　新図書館は旧片上鉄道や観光情報の発信機能としての活用を見込んでいる。併せて片上鉄道の歴史といった郷土資料の展示・紹介を行うとともに、片上ロマン街道の魅力をより一層認識できる施設となるよう工夫していく。

問　**備前市の「都市データパック～住みよさランキング2026年～」は、全国総合247位、県内４位。新設住宅着工戸数・１人当たり法人市民税・出生者数の分析評価、若者・女性定着の施策は。新設住宅着工戸数の現状からその施策が求められる。**

市長　指標と快適と感じる市民の評価とのバランスが重要。20代女性の転出が多いことは解消されていない。若者や女性の思いに寄り添い、帰郷を望む若者が住んで幸せを感じられる施策を進めていく。また、新設住宅建設への奨励策を検討する。

令和８年度（2026）住みよさランキング総合評価

	総合評価全国順位	偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度	県内順位
玉野市	93	51.75	314	610	3	427	1
津山市	182	51.07	164	92	670	375	2
美作市	208	50.92	95	417	389	680	3
備前市	**247**	**50.66**	**260**	**519**	**423**	**255**	**4**
真庭市	346	50.10	29	686	621	702	5
瀬戸内市	364	49.99	114	661	553	515	6
新見市	449	49.59	79	790	716	274	7
岡山市	454	49.56	679	208	360	221	8
赤磐市	479	49.47	172	677	489	653	9
笠岡市	497	49.35	177	672	603	488	10

週刊東洋経済（臨時増刊）　都市データパックより抜粋



そこまでして進めなければなりませんか

備前をかんがえる会
藪内　靖

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

美術館・ビーテラスについて

問　**美術館などは教養を高め、感性を磨くためのものでありますが、スマートシュリンク、賢く収縮していかなければならない、この時期に経費がかかりすぎではないでしょうか。今の備前市に、そのような余裕がありますか。**

市長　美術館は社会教育施設であり、営利を目的とした施設ではありません。しかし、事業規模が本市の予算に対して高額となっているため、令和９年度からは直営で管理運営を行い、経費の節減に取り組む。ビーテラスのおもちゃ広場は誰もが自由に安心してご利用いただくための施設なので、過度な負担や抵抗感を与えないようにしている。

テニスコート（日生総合運動公園）整備について

問　**１年以上の遅れとなっているテニスコート整備。１年生であったテニス部員も３年生になります。愛好者の方々も心待ちにしております。進捗状況をお願いします。**



日生総合運動公園テニスコート

市長　現在、請負業者を決定し、今後は年内の完成を目指し、速やかに工事を進めていく。利用再開は年明け１月頃を見込んでいる。

ＪＲ寒河駅前の周辺整備について

問　**駅前駐車場整備がやっと動き出すとのこと。それと同時にその周辺の整備も急いでいただきたい。安全安心なまちづくりの観点からも死角が多く、荒れている駐車場・駐輪場・通路は非常に危険であると考えています。**

市長　成長した樹木の伐採、照明設備の設置など、寒河駅を快適にご利用いただくために駅周辺の整備は必要と考えている。整備対象の１部にＪＲの敷地が含まれることや、ＪＲ設備の改修も控えていることから、今後ＪＲ西日本岡山支社と協議をしていく。



備前市の歴史と子供たちの未来を守るために

公明党備前市議団
奥道　光人

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

備前陶器窯跡について

問　**美術館・伝産会館・伊部の町並み・南大窯跡をめぐる仕組みの整備はどうか。**

市長　貴重な文化財である窯跡全体の確実な保存が必要。伊部地域の回遊性を整備する実証実験としてシェアサイクル、カーシェアを開始した。

防災について

問　**大規模災害の際の他市・民間との連携状況は。**

市長　災害対策基本法により「岡山県及び県内各市町村の災害時相互応援協定」、市単独で県外４市町と、各種団体と災害協定を結んでいる。

問　**外国人との意思疎通・情報共有の対策は。**

市長　企業対象の災害セミナーを実施した。避難所での意思疎通のツールを用意している。

問　**ペットの同伴・同行避難は。**

市長　各学校から前向きな回答をもらっている。

問　**感震ブレーカーの啓発を。**

市長　東備消防組合で機器設置促進に尽力中。

熱中症対策について

問　**子育て支援施設へのエアコン配備の必要性は。**

市長　エアコンは配備されているとのこと。

市内小中学校教員について

問　**教員の精神疾患による休職について、担任が休職した際の子供たちへのケアは。**

教育長　丁寧な見守りと養護教諭やスクールカウンセラー等と連携。必要な場所や機会を確保して心理的安定を図っている。

問　**業務量管理計画による先生方の仕事量の変化について。**

教育長　勤務時間内での教材研究や児童生徒と向き合う時間が確保され、時間外在校等時間が減少している。





備前市の将来のために

良知会
山本　成

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

人口減少対策について

問　**これまで実施してきた出産・子育て支援施策の効果をどのように検証しているのか。**

市長　子ども医療費、保育料、給食費等を無償化するなど、子育て世帯への経済的支援を続けておりますが、市民意識調査での満足度や出生数の増加には結びついていない状況であると認識しております。

問　**本市から他市町村への転出理由の分析結果とそれを踏まえた対策の方向性は。**

市長　転出の45％が29歳までの若年層であり、進学や就職、結婚を機に本市を離れていることがうかがえます。こうした現状を踏まえて、大都市圏からのＵＩターン者の支援、特に地元に帰って就職や起業をしたくなるような施策が必要と考え、そのための受け皿づくりや効果的な補助制度により、転入者の増加に務めてまいります。

伊部地区の発展について

問　**今、備前市で一番人口の多い地区は、伊部地区です。高齢化比率等からも他の地区との人口差は今後益々拡大するでしょう。備前市は、伊部地区を中心に賢く縮んでいかなければなりません。備前市の将来のために伊部地区に優先的に投資すべきです。今まで要望してまいりました。伊部公民館・くるみの森を新築するべきです。**

市長　伊部公民館について今後検討してまいりますが、その他については全く白紙であります。



伊部認定こども園



小中学校の再編と子育て世代に選ばれるまちづくり

健志会
藤原　智恵

本会議録を作成するまでの間、二次元コードから一般質問の映像をご覧になれます

問　**６月の定例会でも小中学校の再編について質問し、前向きな答弁をいただいたが、進捗は。**

教育長　現在、教育委員会会議において議論している。今後、コミュニティスクールなどの場において、地域、保護者や先生方の声に耳を傾け、来年度事務局の推進体制を整備し、ビジョンを含めた基本計画の策定に向け、データ収集や分析から始める。

問　**こども園の再編の可能性は。**

教育長　小中学校の再編と共に協議していく。

問　**再編までの間の子ども達の選択肢を増やすため、区域外就学許可基準の緩和ができないか。**

教育長　児童生徒数の多い学校で学ばせたい保護者の願いは理解できるが、小規模校から複数転出した場合、その学校の集団生活に大きな影響が考えられる為、慎重に検討すべきことと考えている。

問　**一度始めた子育て支援は出来るだけ長く続けていただきたいがいかがか。**

市長　効果を検証のうえ、必要に応じて縮小・継続を判断している。

問　**独自の支援として産婦人科への通院費の補助ができないか。**

保健福祉部長　国の動向も注視しながら検討するが、財源は限られている。

問　**若者にまちへの愛着と誇りを育むためにアイデアコンペを開催し、良い企画に市が予算をつけるような事ができないか。**

市長　企画ができるよう研究する。



予算決算審査委員会

●一般会計補正予算（第２号）

定例会初日に審査し、全会一致で可決しました。

「人間国宝、名誉市民であられる故伊勢崎淳氏」のお別れの会と市民葬を合同で開催し、本市の発展に多大なご功績を残された故人の功労を称えるとともに市民とともに哀悼の意を表し追悼する式典を開催するものです。

●一般会計補正予算（第３号）

９月24日に審査し、賛成多数で可決しました。主な事業は、次のとおりです。

なお、「吉永総合支所整備事業に係る基本設計及び実施設計に当たっては、地域住民に丁寧な説明と、世代間を問わず幅広く意見を聴取し、地域住民参画により事業を進めていくこと」とする決議を付しました。

事業名	予算額(千円)	事業概要
吉永総合支所整備事業基本設計及び実施設計業務委託	19,305	老朽化した吉永総合支所の建て替え工事に関する工事設計施工監理委託料を計上しています。※附帯決議あり
(仮称)西片上公園整備事業	70,000	ビーテラス臨時駐車場として使用中の用地をイベントなどにも使用できる臨時駐車場及び多目的広場として整備するもの。
新図書館整備事業	△130,000	新図書館整備に係る工事請負費を減額しました。
日本遺産構成資産公開活用環境整備事業補助金	33,000	特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会が、旧閑谷学校の「楷の木ライトアップ」に設置される照明器具を常設整備するための補助金です。

（予算決算審査副委員長　奥道光人）

総務産業委員会

総務産業委員会は９月16日、18日に開催し、付託された案件の審査のほか所管事項を調査しました。審査議案はいずれも原案可決及び認定、請願は趣旨採択と決し、本会議に報告しました。
主な審査内容は次のとおりです。

●議案第87号　備前市定住促進用地の無償貸付け及び無償譲渡に関する条例の制定について

審査では、約4,860万円を費やした造成地を無償譲渡することの妥当性や契約10年後の転売についてなど、定住促進のための宅地を提供する制度そのものの妥当性や将来性についてを議論しました。執行部からは、人口減少・転出への新たな対策として、まず鶴海での無償譲渡を試み、効果が確認できれば次のステップにつなげたいとの考えが示され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

●請願第２号　非核三原則の堅持・法制化を求める意見書の提出に関する請願

「非核三原則を堅持すること」については理解されたものの、法制化の必要性を主張する意見に対し、有事における制約などから法制化には慎重な意見に分かれ、採決の結果、趣旨採択となりました。

【所管事務調査から】

タウンミーティングの状況について

今、備前市は、コーディネーターとして三村岡山大学名誉教授に依頼し、人口減少が進む備前市の公共施設の統廃合や集約、複合化を行い、そのあり方について市民の意見を聞くためタウンミーティングを開いています。まだまだ、参加者が少なく、特に若い人、女性が参加しやすくしていくこと、会の進め方、論点の工夫、アンケートの実施、ＳＮＳの利用など工夫を求める意見がありました。

【議会報告会（意見交換会）】

８月５日、総務産業委員会の委員を中心に、岡山セラミックスセンターを訪問し、研究室の見学とセンター職員との意見交換で多くのことを学びました。

セラミックスセンターが、日本唯一の耐火物専門の公的研究機関として極めて高い戦略的価値を有していることを再認識しました。鉄鋼業の脱炭素化という転換期において、耐火物技術の進化は備前市の産業を守ることのみならず、日本の製造業全体の競争力を左右すること、センターへの支援は単なる一団体への補助ではなく、日本の製造業の根底を守るための「先略的投資」であります。財政支援、県への働きかけ、そして次世代人材の育成支援という多面的な側面から、センターを支援していく必要があると感じました。



意見交換会の様子

（総務産業副委員長　松本　仁）

厚生文教委員会

厚生文教委員会は９月14日、15日、17日に開催し、付託された案件の審査のほか所管事項を調査しました。審査議案はいずれも原案可決及び認定と決し、本会議に報告しました。
主な審査内容は次のとおりです。

●議案第89号　令和７年度備前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

審査において、特定健診の受診率が40%であり、健診後のフォローを充実させるよう要望がありました。また、ポリファーマシー対策（不必要、不適当に多くの薬を服用することによる有害事象の発生リスクを防ぐ取組）では、150人に通知し、58人が改善したとの説明がありました。

被保険者数の減少により歳入・歳出とも減少した一方、１人当たり医療費は増加傾向にあること、国保財政調整基金の残高が約２億6,500万円であることが説明され、全会一致で認定しました。

●議案第102号　令和７年度備前市病院事業会計決算の認定について

病院経営については、コロナ禍で減少した患者数・病床利用率は回復傾向にあるものの、外来患者数は減少傾向にあるとの説明がありました。

備前さつき苑については、人件費の高騰などにより約2,500万円の赤字となり、備前病院・吉永病院から計5,300万円を短期借入れしていることが確認されました。今後、利用者増などによる収益改善を図り、返済していくとの説明があり、全会一致で認定しました。

●請願第１号　教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げを図るための2027年度政府予算に係る意見書提出に関する請願

教職員の35人学級の推進、教職員定数の改善、加配教職員の確保、給与・処遇改善、義務教育費国庫負担率の引き上げを国に求める意見書の提出について審査しました。

2027年度予算への反映は時期的に難しいことや、５項目を一括して求めているため、さらに検討する必要があるとの意見が出されました。趣旨採択を求める意見もあったが、採決の結果、継続審査としました。

●閉会中の委員派遣

共同調理場・ランチルーム

７月31日、伊里共同調理場・吉永共同調理場・吉永中学校ランチルームを視察しました。

伊里共同調理場では、調理室など施設の現状を確認しました。吉永共同調理場では、閉鎖の理由にもなった老朽化した施設設備などを確認しました。吉永中学校ランチルームでは改修した空調設備を確認し、利用状況などについて説明を受けました。


吉永共同調理場を視察中

蕃山荘

８月24日、蕃山荘を視察しました。

蕃山荘においては、入居者数や施設の老朽化についての説明を受けました。


蕃山荘を視察中

所管事務調査

美術館の運営について

備前市美術館を市直営へ移行する方針が報告されました。美術館の維持費は、指定管理料など美術館関係で２億円余りです。年間約6,000万円の削減を目指すとしています。現在は、公益財団法人備前市文化芸術振興財団が指定管理者です。指定期間は、2024年８月１日から2027年３月31日までとされております。

委員からは、財団との協議の過程を疑問視する質疑及びなぜ今市直営にするのか、市直営にしたら以前の備前焼ミュージアムのような状態になるのではないか、美術館の運営については、専門性の高い質が確保できるのかなどの意見が出されました。

（厚生文教委員　山本　成）

備前市議会だより 第78号
令和８年11月発行

議会報告会「議員とわがまちトークコーナー」のお知らせ

市民の皆様と議員が意見交換を直接できる機会になりますので、市政、市議会への質問や意見などをご希望の皆様の参加をお待ちしております。

開催日　11月14日(土)　10時30分～14時00分
会　場　備前市学びと遊びの健康プラザ（ビーテラス）２Ｆエレベーターホール
市民ふれあい福祉まつり内ブース

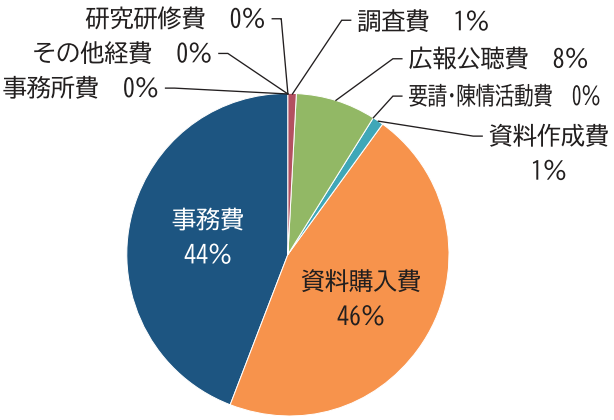
令和８年度（４月～５月分）政務活動費収支報告書の公開

令和８年度（４月～５月分）の政務活動費は、交付を受けた前任期の議員９人から収支報告書の提出があり、議員一人ひとりの明細書・領収書、使途状況を議会運営委員会で審査したうえ、市長に報告しました。

市議会ホームページで議員ごとの収支報告とともに執行状況を公開しています。

また、議会事務局では、領収書の写しを含め報告書を閲覧することができます。

政務活動費使途割合



交付額　４５０,０００円　　自己負担額　１,８８７円
決算額　２３３,２３２円　　返還額　２１８,６５５円

12月定例会の予定

■12月２日(水)　開会：議案上程／提案説明ほか
■　９日(水)～11日(金)　一般質問
■　14日(月)　議案質疑／委員会付託
■　15日(火)　総務産業委員会（15日、17日）
厚生文教委員会（16日、18日）
～21日(月)　予算決算審査委員会（21日）
■　24日(木)　委員長報告／議案採決／閉会

開会時刻は9時30分から
詳しくは議会事務局まで　☎64-1803

備前市議会ホームページでもお知らせします
https://www.city.bizen.okayama.jp/

編 集 後 記

９月議会を終え、朝夕の空気が冷たく感じるようになりました。７月28日には、熊本地震、８月、９月は全国各地で大雨や台風による水害など、痛ましい災害が相次ぎました。ニュースを目にするたび、被災地の一日も早い復旧と、皆様の穏やかな日常が戻ることを願わずにはいられません。

今議会におきましても、災害に関する議論が行われました。日頃からの備えとともに、地域で声を掛け合い、支え合うことの大切さを改めて感じています。

これからも、市民の皆様の声に耳を傾け、一人ひとりの暮らしに寄り添いながら、安心して暮らせる備前市を目指して、議会の活動に取り組んでまいります。

季節の変わり目です。皆様どうぞお身体を大切にお過ごし下さい。

（広聴広報委員　森本洋子）

発行／備前市議会　編集／備前市議会広聴広報委員会
〒705-8602 岡山県備前市東片上126
定例会号年４回（２月・５月・８月・11月）と臨時号を発行
ご意見・お問い合わせ　備前市議会事務局まで
TEL0869-64-1803 FAX0869-64-1074

VEGETABLE OIL INK　UD FONT
●この議会だよりは再生紙を使用し、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。
●ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。